

東芝換気扇(ダクト用)  
取付説明書

形名 | 人感センサー付  
**DVF-14FXK8** (トイレ用)

この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。  
この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。



も く じ

安全上のご注意 .....	1 ~ 2
取付上のお願い .....	2
製品寸法 .....	3
取付図 .....	3
取付方法 .....	3 ~ 7

取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。  
またこの取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。



# 安全上のご注意

ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。  
表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

## 図記号の例

物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号	図記号の意味
 改造禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「改造禁止」を示します。
 電源を切る	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「電源を切る」を示します。

## ⚠ 警告

改造はしない

火災・感電・けがの原因になります。



改造禁止

修理技術者以外の人は、分解・修理( )をしない

火災・感電・けがの原因になります。

修理は、お買い上げの販売店または  
東芝家電修理ご相談センターにご連  
絡ください。



分解・修理禁止

電源は交流100Vを使う

交流100V以外の電源を使うと、  
火災・感電の原因になります。



交流100V使用

内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素  
中毒を起こす原因になります。



取付禁止

ガス漏れのときは、窓を開けて換気する

電源スイッチを入れたり切ったりすると  
ガス爆発の原因になります。



交流100V使用

水や洗剤などをかけたり、吹きつけたり  
しない

漏電により、火災・感電の原因にな  
ります。



水かけ禁止

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属  
板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通す  
る場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤ  
ス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付  
ける

漏電した場合、火災の原因になります。



接触禁止

煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けると  
きは、十分大きな空気取入口を別に付ける

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素  
中毒を起こす原因になります。



給気を確実に

アースは確実に取り付ける

故障や漏電したとき、火災・感電の原因  
になります。アースの取付は販売店や電  
気工事店を通じ、電気工事に依頼して  
ください。



アースを接続する

包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に破棄ま  
たは保管する

頭からかぶるなどすると、口や鼻を塞ぎ、  
窒息する原因になります。



ポリ袋破棄

## ⚠ 注意

強度のある場所に確実に取り付ける  
落下による、けがの原因になります。



確実に取り付ける

製品の取り付けのときは、手袋を着用する  
手袋を着用しないと、けがの原因になります。



手袋着用

本体カバーや部品は確実に取り付ける  
落下により、けがをする原因になります。



確実に取り付ける

電気工事は必ず電気工事に依頼する  
電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実  
に行う  
電源電線の接続は機械的な方法で確実に  
接続する



取付注意

火災の原因になります。

浴室など湿気の多い場所には取り付け  
ない  
火災・感電の原因になります。



取付禁止

炎が当たる恐れのある場所には  
取り付けない  
火災の原因になります。



炎禁止

浴室内には壁スイッチを取り付け  
ない  
火災・感電の原因になります。



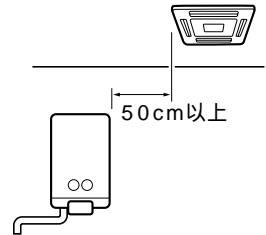
取付禁止

## 取付上のお願い

次のような場所には取り付けないでください。

1. 高温（40℃以上）になる場所  
ガスレンジの真上  
ガス湯沸器の真上（横方向へ50cm以上離してください。）  
換気機能のない浴室・乾燥機を使用する浴室

2. 台所など油煙の多い場所
3. 腐蝕性ガスの発生する場所

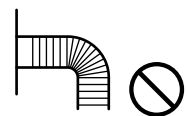
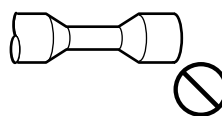
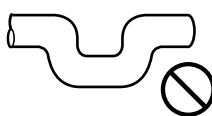


点検口を必ず設けてください。

この換気扇にはスイッチは付属しておりませんので、工事の際準備してください。

次のようなダクト工事はしないでください。

- (1) 極端な曲げ (2) 多数回の曲げ (3) 接続ダクト径を極端に小さくする (4) 排気口のすぐ近くでの曲げ



ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。

シャッターが開かなくなるおそれがあります。

効率よく排気させるため排気ダクトと同じ大きさの空気の入入口を部屋の反対位置に設けてください。

# 製品寸法

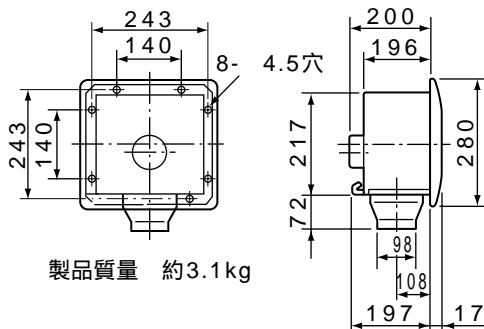
(単位mm)

形 名	木枠内寸	ダクト呼び径
DVF-14FXK8	225	100

付属品の確認をしてください。

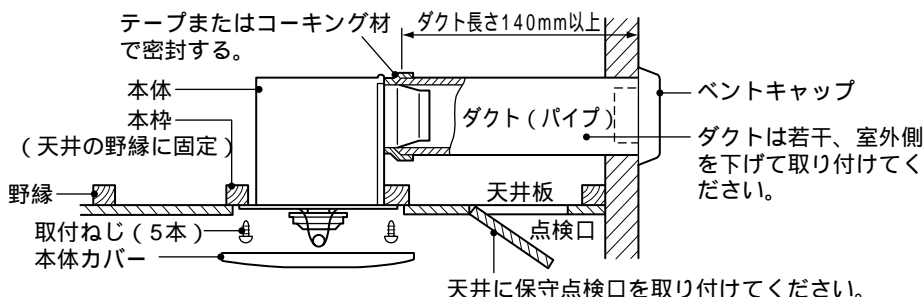
取付ねじ5本(本体固定用・排気口固定用)

取付ボルト1本(本体仮固定用)

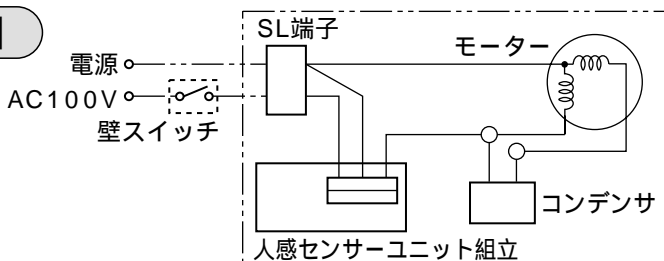


製品質量 約3.1kg

## 取付図



### 配線図



## 取付方法

取付工事前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。

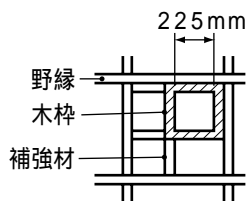
### 1. 天井板を貼る前のとき

#### 木枠に取り付けるとき

A-1 木枠内寸に合わせて木枠をつくり野縁に固定します。

お願い

製品質量(3.2kg)に十分耐えるよう木枠を補強材などで野縁に固定してください。

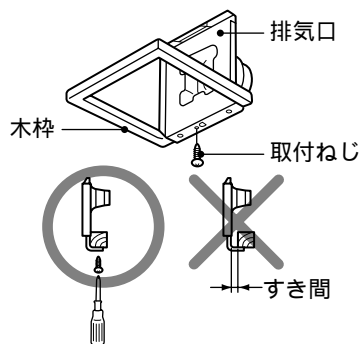


## A-2 排気口を固定します。

排気口と木枠にすき間がないように付属の取付ねじ（1本）で固定します。

お願い

工事をするときシャッターを変形させないでください。

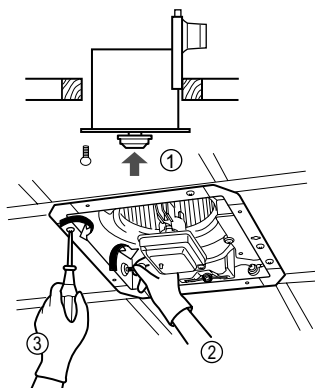
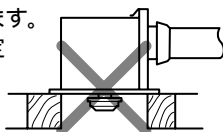


## A-3 本体を木枠に固定します。

本体を木枠にはめ込みます。  
付属の取付ボルトで仮固定します。  
（安全のためそのままにしておいてください。）  
取付ねじ（4本）で本体を木枠に固定します。

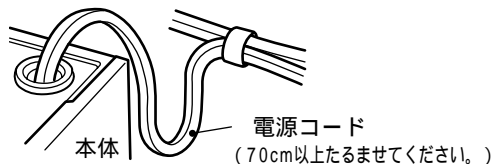
お願い

本体の固定は、排気口に密着させてください。  
風もれの原因になります。  
本体を木枠の上に固定しないでください。



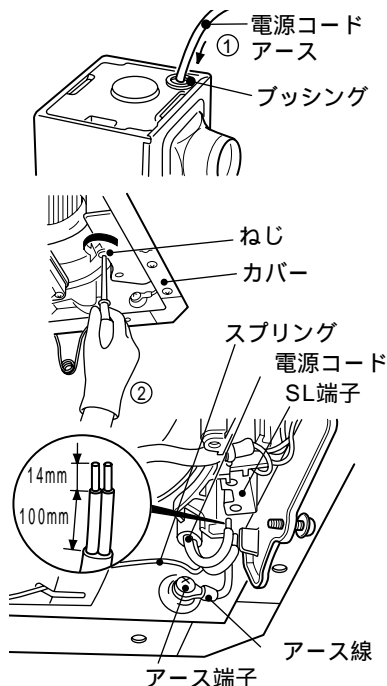
## A-4 電気コードとアース線を接続します。

本体上部のブッシングから電源コード（VVF 1.6、2）アース線を差し込みます。  
カバーのねじをはずし、カバーをあげます。  
SL端子に電源コードの芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。（電源被ふくは14mmむいてください。）  
カバーを閉じてねじを締め付けます。  
アース端子にアース線を取り付けます。  
電源コードおよびアース線は本体部付近で70cm以上たるませてください。



お願い

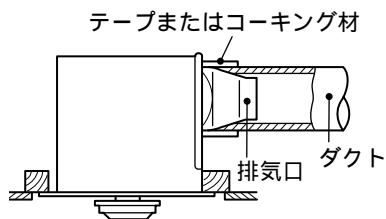
配線工事やスイッチの取り付けは必ず電気工  
事店に依頼してください。  
スイッチは必ず活線側に取り付けてください。



## A-5 排気口にダクトをはめ込みテープまたはコーキング材で密封します。

お願い

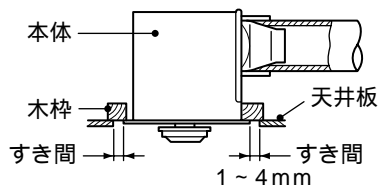
ダクトは若干室外側を下げて取り付けてください。



## A-6 天井板を貼り付けます。

お願い

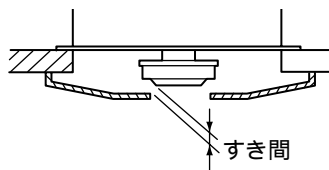
本製品は本体を天井よりはずせる構造としてありますので、天井板と本体のフランジとのすき間が1～4mmになるようにしてください。



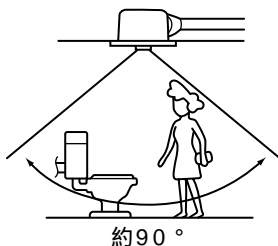
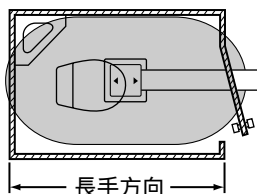
## A-7 天井は厚さ15mm以下のものを使用してください。

お願い

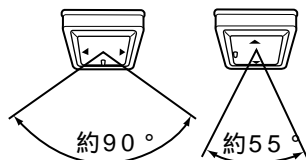
15mmをこえる厚さの場合、右図のようにすき間ができます。



## センサー感知範囲と調節方法



感知距離約2.5m  
感知範囲角度(方向性)



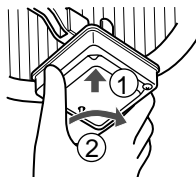
< 調節方法 >

センサー部の◀▶マークがトイレの長手方向を示すように位置を合わせてください。

押す

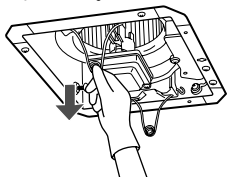
90°回す

手を離す

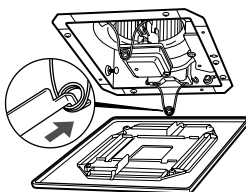


## A-8 本体カバーを取り付けます。

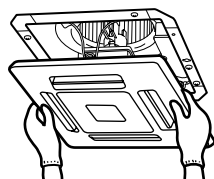
本体からスプリングを止まるまで、ゆっくりと真下へ引き出します。



スプリングに取付金具を引っ掛けます。



本体カバーをそのままゆっくりと、押し上げます。

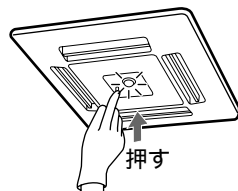


お願い

そのとき、センサー部が、本体カバーパネルの角穴へ確実にハマり合うよう注意してください。  
本体カバー外周と天井面との隙間がないように化粧枠を天井へ押しつけてください。

A-9 電源スイッチ（壁スイッチ）を「入」にします。

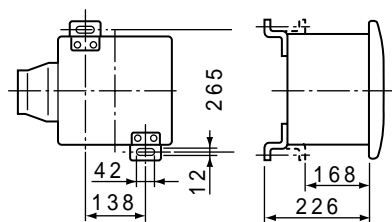
A-10 運転スイッチの押ボタンを押します。  
人を感知して換気扇が運転するとセンサー部の運転ランプ（赤色）が点灯します。



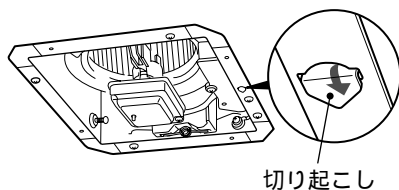
## 吊下金具を使用するとき

1 吊下金具は別売部品（DV-1T）を使用します。  
吊下金具を使用して取り付けたとき、本体の取りはずしはできません。

2 下（4）図のようにアンカーボルトを埋込みます。  
吊下金具は破線のような取り付けもできます。



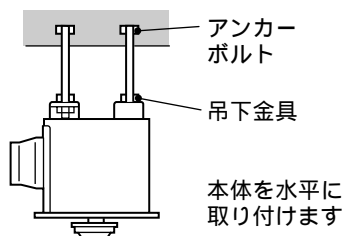
3 排気口を本体に固定します。  
排気口の切り起こしを本体の穴に通してペンチ等で曲げます。



4 本体をアンカーボルトに取り付け、木枠に取り付けます。

お願い

本体が水平になるように取り付けてください。



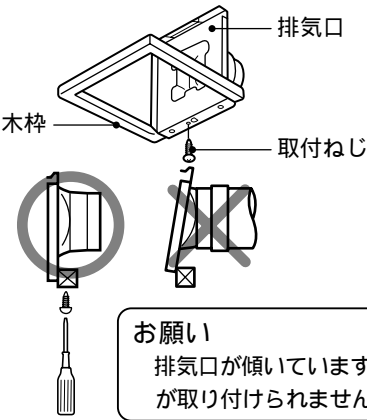
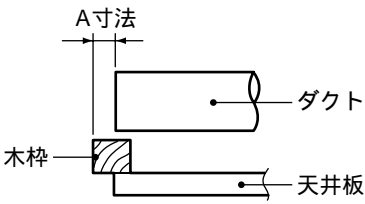
5 後の取り付けはA-4～A-10を参照してください。

# 2.天井板を貼った後のとき

## B-1 排気口を固定します。

ダクトの先端は下表のA寸法に合わせてください。

排気口をダクトにはめ込み木枠に付属の取付ねじ（1本）で固定します。



A寸法 (単位mm)

形 名	ダクト (パイプ)			
	呼び径	VU	VP	スパイラル
DVF-14FXK8	100	25	45	45

お願い  
排気口が傾いていますと本体が取り付けられません。

## B-2 以後の取り付けはA-3～A-10を参照してください。

以上で取り付け完了です。次の点検を行い、異常がないか確認してください。

- 製品の取付強度が十分なこと。
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと。
- 本体カバーが確実に取り付けられていること。

## 試運転の方法と確認項目

操作手順	確認項目
1.センサー部の注意ラベルをつけたままで、壁スイッチを入れる。	
2.運転スイッチ（押ボタン）を押す。	約30秒間運転後停止
3.注意ラベルをはがす。	約7分間運転後停止

確認後は壁スイッチと運転スイッチは入れたままにしておいてください。